

単元テスト&総合実力テスト

昨年度から松茂中学校のテスト形式が変更されています。定期テストがなくなり、単元テストと総合実力テストを実施することになりました。単元テストは、単元(小さなまとまり)ごとに行う小テストのことです。例えば、数学なら「方程式」の授業が終われば単元テストをし、国語なら「枕草子」の授業が終われば単元テストを実施するという具合に、学習のまとまりごとに小テストを実施します。総合実力テストは、学習した内容の定着と応用力をつけるテストで、今までの実力テストのようなものです。(実技教科のテストは従来通り実施します。)

では、なぜ「単元テスト」を導入するのでしょうか。みなさんは、今までのテストで、範囲が広すぎて困った経験はありませんか?テスト期間中に、「〇〇はテスト範囲が広いから捨てた」という言葉を聞くことがあります。単元ごとに行うテストであれば、そのようなことはありません。小さなステップを一段ずつ登っていくことで、確かな力をつけることができるのです。また、自分がつまづいているところにもすぐに気付くことができ、苦手克服もしやすくなります。

従来の定期テスト(中間テスト・期末テスト)を廃止

⇒単元テスト・総合実力テストを実施

※単元テスト…単元(小さなまとまり)ごとに行う小テスト

※総合実力テスト…学習した内容の定着と応用力をつけるテスト

(例)



※3年生は、上記以外にも高校入試に向けた「実力テスト」を実施します。

学習というのは、「小さな積み重ね」が非常に大切になってきます。それが、物事を積み上げていく力へとつながっていき、生きる力・生き抜く力になります。がんばりましょう!